

第43回アーバンフィット 24 全日本シニアバドミントン選手権大会への推薦について

- ① 昨年度の全日本シニアバドミントン選手権の成績（ベスト16）による推薦選手
  - ② 令和8年度の予選会（北海道シニア選手権）の各種目2位までの選手
- ・上記①②に該当しない選手については、予選会（北海道シニア選手権）の結果に基づき、北海道の参加可能人数の範囲内で推薦する。
- ※①の推薦選手は推薦種目に限らず、予選出場無しで2種目の申込が可能である。  
※予選会出場者も推薦される場合は、予選種目に限らず、2種目の申込が可能である。  
※推薦については北海道バドミントン協会において決定する。

令和8年度の全日本シニアバドミントン選手権が北海道での開催のため、上記推薦基準は全日本シニアバドミントン選手権の北海道開催時における推薦基準として適用する。北海道以外で開催される大会については、従来の推薦基準とする。

※北海道シニア選手権での順位と全日本シニア選手権の組合せの関係に関する問い合わせを受けることがあります。全日本シニア選手権の組合せ方法については、令和7年度大会要項の別紙として公表された下記「組合せ基準」を参考としてください。

【参考：令和7年度全日本シニアバドミントン選手権大会組合せ基準】

1. 前回大会の成績を参考にして組合せをする。
2. シード枠（最大32枠）は、種別参加人数・組の概ね30%程度とする。
3. 前回大会で成績上位（上記2より算出された種別シード枠の数）のプレーヤーで、今回参加するプレーヤーを上位順にシードする。その際は、前回大会の敗戦相手とは反対の山に抽選配置する。
4. 前回大会に同種別の若年代に出場し、ベスト16に入ったプレーヤーで、今回参加するプレーヤーを、別途考慮した位置に配置する。
5. シード順位は、前回大会1位、2位の順、同位3位以下については、順位を抽選した後、配置する。
6. シード枠が埋まらなくても、上記3に該当しない前回大会の成績上位者からの繰上げはしない。
7. 上記のシード配置においては、所属バランスによる調整は行わない。
8. シード配置後は、フリー抽選とする。
9. 同一都道府県バランスや複のパートナーの分離を考慮し配置する。
10. 複のパートナーの単種別での分離については、できうる限り1/4の山に入らないように配置する。
11. 混合複において、複のパートナーの分離については、できうる限り1/8の山に入らないように配置する。
12. 前回大会の初回戦で対戦したプレーヤーが、再び初回戦で対戦することを避ける。